

株式会社 ゼロプラス

〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町山鹿104-2
TEL 093-482-8020 HP <https://www.asagohanhonpo.com>

公式HP

業 種 無店舗小売業
従業員数 5名
資 本 金 300万円

事業内容

こどもに伝えたい、日本の朝ごはん

2008年に創業、通販サイト「朝ごはん本舗」を運営。2024年からは、福岡県の地域資源である赤しそを活用した自社製品の製造と開発に着手。自社商品は、無添加にこだわり、昔ながらの製法を守って作っている。2025年からは本格的に海外進出にも取り組んでいる。



改善成果のポイント

訪問支援回数 | 10回 (支援期間: 13カ月)

- 2S*活動推進～レイアウト変更で作業効率向上
- 手作業から自動化(設備導入)による品質安定と生産性向上

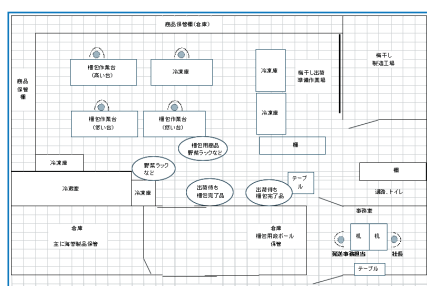
(*) 整理・整頓



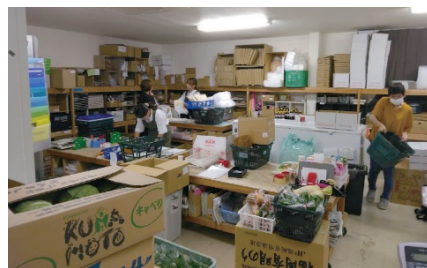
Q どんな困りごと(課題)がありましたか？

当社は通販サイト「朝ごはん本舗」の運営を主業としており、創業17年目を迎えます。これまで通販売上が99%を占めていましたが、アフターコロナで消費動向が変化し、利益率の高い自社商品の製造開発に着手、添加物不使用・昔ながらの製法にこだわっています。今年は昨年比で販売数量が大幅に増加しましたが、製造は手作業で行っているため、生産が需要に追いつかない状況が続いていました。作業場が狭く、人員を増やせばかえって効率が低下する懸念があったため、雇用拡大も困難な状況でした。せっかくご注文いただいたもお届けまでに時間がかかり、常にリードタイムが長い、新規顧客が購入を諦めるケースやキャンセルが頻発し、大きなチャンスロスに直面していました。また、原料が重い、腰痛などの作業負担も加わり、早急な改善が求められていました。この危機を乗り越え、自社商品の製造体制の強化を目的として、今回、センターの支援を受けることにしました。

課題 ① ② ③ ⑤



改善前の工場レイアウト

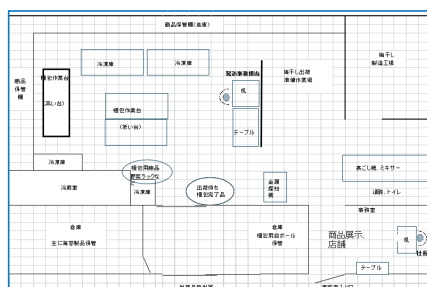


改善(2S実施)前の作業場と資材棚

Q 改善の取組み内容を教えてください

困りごとに対し、作業環境の整備、2Sを推進しスペースの確保、作業場内のレイアウト変更、手作業から自動化への設備導入と生産性を向上させるアドバイスを頂きました。手狭な作業スペースに物が溢れ作業効率を阻害した状態でしたので、まずは2Sを実施しました。従業員の意見を聞きながら商品棚と資材棚の2S、置場を決めた棚番表示、作業用テーブルの向きを変更し、作業しやすい環境を整えました。結果、自社商品の製造スペースの確保と拡大に繋がりました。

次に設備導入に向けて、作業安全と作業動線を考慮した最適なレイアウトを検討しました。作業のデモを繰返し、問題や課題を洗い出し対策を検討、作業干渉がない事も確認して最終レイアウトを決定しました。今回、設備は高速裏ごし機、フードミキサー、金属検出器付ウエイトチェッカー、小型レベラーを導入し、作業手順書の作成、作業訓練も実施しました。結果、従業員が誰でも作業できるようになり、生産性向上だけでなく品質も安定しました。



改善後の工場レイアウト

Q 取組んで良かった点を教えてください

メインの
効果
(改善点)

今回、手作業から自動化への設備導入を行い、従来の作業時間に比べ、8時間/日以上短縮ができました。個々の工程改善効果は、①赤しそを混ぜる工程は5名から1名となり4時間/日の削減、②ふりかけを混ぜる工程は3名から1名で20分/日の削減、③梅裏ごし工程は3名から1名で45分/日の削減、④計測異物検査工程は1商品当り60秒が2秒になり3.2時間/日の削減となりました。

また、手作業によるやり直し作業や品質ムラもなくなり属人的作業から誰でもができる工程、作業となりました。



副次効果

内製商品の製造現場の2S実施がスペースの確保に繋がり、2Sの重要性を痛感しました。また、通販準備作業場の商品棚、資材棚の棚番表示や見える化により、探すムダが無くなりました。さらにレイアウト変更する事で作業動線の干渉も解消されました。



今後の目標

海外進出も含め販路の拡大に取組み、新商品開発、社員の余力を活かしながら更なる、生産性向上に務めて行きます。また、社員全員で取り組んだ活動体験を財産に、働き方改善にも目を向け停滞、後戻りしない様に、改善を今後も進めて行きます。



2Sとレイアウト見直し後の作業場と商品棚



導入した設備の一部 (フードミキサー)

企業様の声

狭いスペースなので作業空間の確保が課題でしたが、物の流れ・作業動線・物の置き方・作業安全スペース確保等のご指導をいただき、設備導入にあたり思い切って片付けを徹底したことで作業スペースが確保できました。スタッフも2Sの意識が高まり、結果的に生産量は以前の3倍となりました。今後も維持・向上へ社員全員で取り組んでいきます。

株式会社ゼロプラス
代表取締役社長
須河内 美紀 様

生産性アドバイザーから一言

業務、取扱い商品の比率を変更する為に、2Sを中心に活動しスペース確保、レイアウト変更、設備導入を進めて来ましたが、2S推進に当たっては何をどうすれば良いか疑問の状態からスタートしましたが、アドバイスを真摯に受け止め社員全員でコツコツと活動して頂き目標達成ができた事に感謝します。環境変化に柔軟に対応できる企業様ですので、今後の発展を期待しています。

生産性アドバイザー
俵積田 正文